

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
久米南町	上之町地区	令和4年3月8日	年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	10.3 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	5.9 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	0.2 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

就農者の平均年齢が70歳ですが現在は、後継ぎ就農は未定であるがその時期には兄弟、親戚、隣組組織でカバーしながら、頑張っている現状です。
やめるやめると言いながらその時期が来ればそれなりに草刈り。水路管理、苗作りをしている。いざ、先祖から受け継いだ土地を手放すとか他人に任せるには抵抗があるようです。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地の集約化については、個人同士の話し合いでは難しいと考えます。
今後は公的な場所で【土地を借りたい人】と【就農困難な人】とのマッチングをして耕作放棄地をなくする方法を今から考えていきたい。

今は、後継ぎ就農者が未定だが、隣組組織・兄弟・親戚等の絆を当てにして、近回りにそれぞれが住んでいるので、5年～10年は続けていくよう考えている。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

今後、各会員に農地の貸付についての意向を確認していく。
※耕作当事者だけでなく、家族、引継ぎ世代を会話に参加させて将来構想を家として確認する。

農地中間管理機構の活用

鳥獣害防止対策の取組
地域における鳥獣害対策の点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況)づくりや捕獲体制の構築の取組。